2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名	株式会社ＡＯＫＩホールディングス		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	8214	URL https://www.aoki-hd.co.jp/	
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名） 田村　春生	
問合せ先責任者	（役職名） ＩＲ室長	（氏名） 江口　聡	(TEL) 045-941-1388
半期報告書提出予定日	2026年11月９日	配当支払開始予定日	2026年12月２日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	83,344	△0.8	1,946	△50.6	1,498	△60.2	466	△75.3
2026年３月期中間期	84,028	1.3	3,937	△5.6	3,760	△1.7	1,888	△32.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　218百万円（△87.8%）　2026年３月期中間期　1,791百万円（△15.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	5.54	―
2026年３月期中間期	22.45	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	212,848	140,493	65.9
2026年３月期	225,455	145,208	64.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　140,198百万円　　2026年３月期　144,902百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	20.00	―	60.00	80.00
2027年３月期	―	30.00			
2027年３月期(予想)			―	60.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	199,000	2.3	18,000	6.2	17,300	5.7	10,000	5.7	118.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有
連結売上高及び経常利益を修正しております。また、セグメント別の売上高を修正しておりますので、添付資料３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	86,649,504株	2026年３月期	86,649,504株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,424,158株	2026年３月期	2,491,481株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	84,177,242株	2026年３月期中間期	84,115,672株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

・決算補足説明資料については、2026年11月６日(金)にTDnetに開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

（決算説明会資料について）

・当社は、2026年11月19日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会（WEB説明会）を開催する予定です。この決算説明会資料については、開催当日の午前中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

頁

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫に伴う原材料価格の高騰や物価上昇等を背景とした消費者の節約志向の高まりに加え、自然災害や天候不順が消費活動を下押しするなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは下記のような諸施策を実施した結果、売上高は833億44百万円（前年同期比0.8％減）、営業利益は19億46百万円（前年同期比50.6％減）、経常利益は14億98百万円（前年同期比60.2％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は４億66百万円（前年同期比75.3％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（ファッション事業）

ファッション事業では、ＰＯＳシステムの刷新やＲＦＩＤ（電子タグ）の全店導入など、店舗ＤＸを推進し、お客様の利便性向上と店舗オペレーションの効率化に注力いたしました。ＡＯＫＩでは、ビジネススタイルのカジュアル化に対応した商品展開の強化や、リカバリーウェアをはじめとするウェルネス関連商品を拡充するとともに、高機能レディースウェア・ブランド「ＭｅＷＯＲＫ（ミワク）」において、働く女性から高い支持を得ている「神ラクセットアップ」の新作アイテムを展開するなど、カジュアル及びレディース領域の拡大を図りました。ＯＲＩＨＩＣＡでは、ＯＭＯ（店舗とＥＣの連携）を活用したメンズ特化型の小型店舗など、効率的な出店形態による店舗展開を進め、店舗生産性の向上と営業体制の強化に努めました。店舗面では、ＯＲＩＨＩＣＡで５店舗を新規出店した一方、営業効率改善のためＡＯＫＩで５店舗及びＯＲＩＨＩＣＡで３店舗を閉鎖した結果、当中間期末の店舗数は608店舗（前期末611店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等に注力したものの、天候不順や気温低下に伴う盛夏商品の需要減退等による客数減少及び人件費等コストが増加した結果、売上高は376億56百万円（前年同期比2.6％減）、営業損失は20億74百万円（前年同期は営業損失８億34百万円）となりました。

（エンターテイメント事業）

複合カフェの快活ＣＬＵＢでは、鍵付完全個室店舗の拡大や各種サービス・コンテンツの充実を図るとともに、コーヒーの品質向上によるドリンクバーの刷新や、スタミナ満点メニューの期間限定販売等、集客強化と客単価向上に注力いたしました。カラオケのコート・ダジュールでは、各種コラボキャンペーンの開催により客層の拡大を図るとともに、全店禁煙化により快適な店舗環境の整備と店舗オペレーションの効率化を推進いたしました。24時間営業のフィットネスジムのＦｉＴ24では、新規出店と入会キャンペーンの開催により新規会員獲得に注力するとともに、新コンテンツの導入やトレーニングサポート「スタサポ」の強化、マナー向上推進に取り組み、会員の満足度向上と定着化を図りました。店舗面では、快活ＣＬＵＢで４店舗及びＦｉＴ24で５店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため快活ＣＬＵＢで７店舗及びコート・ダジュールで５店舗を閉鎖した結果、株式会社ランシステムが運営する複合カフェ「自遊空間」他83店舗（内フランチャイズ46店舗）を含め、当中間期末の店舗数は772店舗（前期末773店舗）となりました。

これらの諸施策の実施等により客数が増加し既存店が堅調に推移した一方、人件費等コストが増加した結果、売上高は393億76百万円（前年同期比1.3％増）、営業利益は44億67百万円（前年同期比3.0％減）となりました。

（アニヴェルセル・ブライダル事業）

アニヴェルセル・ブライダル事業では、自主販促の拡充による受注活動の強化を図るとともに、ブライダルフェア等を通じた商品・サービスの魅力訴求や、新郎新婦が望む挙式イメージを具体的に描く提案活動等により、成約率及び組単価向上に注力いたしました。また、企業の展示会やパーティーなど法人宴会需要のさらなる獲得に向け、営業体制の整備や新たなサービスの開発を推進いたしました。

これらの諸施策の実施等に注力したものの、前期のやや低調な受注に伴う施行組数の減少及び受注強化に向けた広告宣伝費等コストが増加した結果、売上高は51億２百万円（前年同期比5.8％減）、営業損失は６億７百万円（前年同期は営業損失89百万円）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業では、グループ内店舗の遊休スペースの賃貸を推し進めたこと等により、売上高は37億60百万円（前年同期比6.5％増）、営業利益は８億50百万円（前年同期比10.6％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金並びに売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ126億７百万円減少し、2,128億48百万円となりました。

流動資産は、売掛金が季節的要因等により71億78百万円、現金及び預金が59億54百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ135億３百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により２億85百万円、無形固定資産が３億51百万円及び投資その他の資産のその他が５億円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ８億95百万円増加いたしました。

（負債）

流動負債は、短期借入金が30億円増加した一方、買掛金が季節的要因等により60億31百万円及び未払法人税等が法人税等の支払いにより12億９百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ66億39百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が７億56百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ12億53百万円減少いたしました。

（純資産）

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益及び配当金の支払いの結果45億87百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ47億14百万円減少しております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比べ59億54百万円減少し、210億54百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は42億87百万円（前年同期と比べ15億40百万円増加）となりました。これは主に、仕入債務の減少額が60億31百万円及び法人税等の支払額が25億１百万円となった一方、税金等調整前中間純利益が９億46百万円、減価償却費が51億68百万円及び売上債権の減少額が71億78百万円となったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、53億円（前年同期と比べ11億28百万円増加）となりました。これは主に、新規出店及びリニューアル等に伴う有形固定資産の取得が48億18百万円、敷金及び保証金の差入が４億66百万円となったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、49億42百万円（前年同期と比べ80億33百万円減少）となりました。これは主に、短期借入金の増加額が30億円及び長期借入れによる収入が30億50百万円となった一方、長期借入金の約定返済が51億２百万円及び配当金の支払額が50億44百万円となったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績については、売上高が減少したことに加え、各種コストの増加等により、通期計画の進捗に対し売上高、利益ともに下回って推移いたしました。

通期の連結業績予想は、当中間連結会計期間の業績をベースに、下期の出退店計画及び経費計画の見直しを行い、2026年５月12日に公表しました通期連結業績予想の売上高及び経常利益を修正いたしました。

また、セグメント別の売上高についても、以下のとおり修正しております。

【2027年３月期のセグメント別予想】

	ファッション事業	エンターテイメント事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	不動産賃貸事業	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	105,700	77,700	12,900	7,400	199,000
前期比(%)	102.7	101.2	103.6	102.8	102.3
セグメント利益	8,900	7,875	1,000	1,700	18,000
前期比(%)	104.6	108.4	114.4	110.1	106.2

（注）セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、その他及び連結上の調整額です。

※ 上記の業績予想は、現時点で当社が入手している情報等に基づいて判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,008	21,054
売掛金	14,479	7,301
棚卸資産	23,370	23,613
その他	6,015	5,401
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	70,865	57,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,557	66,686
土地	30,692	30,692
その他（純額）	16,014	16,172
有形固定資産合計	113,264	113,550
無形固定資産	7,121	7,473
投資その他の資産		
差入保証金	6,203	6,085
敷金	19,152	19,158
退職給付に係る資産	1,018	888
その他	7,844	8,344
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	34,204	34,462
固定資産合計	154,590	155,486
資産合計	225,455	212,848

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,916	8,885
短期借入金	1,000	4,000
１年内返済予定の長期借入金	10,005	8,710
未払法人税等	2,558	1,348
賞与引当金	1,997	1,762
役員賞与引当金	152	86
その他	15,377	14,576
流動負債合計	46,009	39,369
固定負債		
長期借入金	18,960	18,203
退職給付に係る負債	66	67
資産除去債務	8,897	8,889
その他	6,314	5,825
固定負債合計	34,238	32,984
負債合計	80,247	72,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,644	22,682
利益剰余金	100,749	96,162
自己株式	△2,887	△2,809
株主資本合計	143,789	139,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	8
退職給付に係る調整累計額	1,105	872
その他の包括利益累計額合計	1,112	880
非支配株主持分	306	294
純資産合計	145,208	140,493
負債純資産合計	225,455	212,848

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	84,028	83,344
売上原価	49,750	49,938
売上総利益	34,277	33,406
販売費及び一般管理費	30,340	31,459
営業利益	3,937	1,946
営業外収益		
受取利息	67	59
受取配当金	9	0
その他	42	32
営業外収益合計	119	92
営業外費用		
支払利息	124	165
固定資産除却損	59	113
その他	114	262
営業外費用合計	297	540
経常利益	3,760	1,498
特別利益		
固定資産売却益	10	10
特別利益合計	10	10
特別損失		
減損損失	623	561
特別損失合計	623	561
税金等調整前中間純利益	3,146	946
法人税、住民税及び事業税	720	994
法人税等調整額	534	△499
法人税等合計	1,254	495
中間純利益	1,891	450
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失（△）	3	△15
親会社株主に帰属する中間純利益	1,888	466

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,891	450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	0
退職給付に係る調整額	△115	△232
その他の包括利益合計	△99	△232
中間包括利益	1,791	218
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,788	234
非支配株主に係る中間包括利益	3	△15

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,146	946
減価償却費	5,050	5,168
減損損失	623	561
のれん償却額	－	0
退職給付に係る資産負債の増減額	△150	△206
受取利息及び受取配当金	△77	△60
支払利息	124	165
固定資産売却損益（△は益）	△10	△10
売上債権の増減額（△は増加）	7,819	7,178
棚卸資産の増減額（△は増加）	△830	△242
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,947	△6,031
未払消費税等の増減額（△は減少）	△1,042	△284
その他	△2,808	△288
小計	4,899	6,898
利息及び配当金の受取額	72	55
利息の支払額	△129	△166
法人税等の支払額	△2,111	△2,501
法人税等の還付額	15	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,747	4,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,972	△4,818
有形固定資産の売却による収入	1,202	257
無形固定資産の取得による支出	△548	△775
敷金及び保証金の差入による支出	△513	△466
信託受益権の純増減額（△は増加）	1,577	507
その他	83	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,172	△5,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50	3,000
長期借入れによる収入	－	3,050
長期借入金の返済による支出	△6,800	△5,102
リース債務の返済による支出	△1,187	△845
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△5,037	△5,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,975	△4,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,400	△5,954
現金及び現金同等物の期首残高	34,880	27,008
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,479	21,054

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	ファッション事業	エンターテイメント事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	不動産賃貸事業	計				
売上高									
ファッション	38,663	―	―	―	38,663	―	38,663	―	38,663
複合カフェ	―	31,122	―	―	31,122	―	31,122	―	31,122
カラオケ	―	4,758	―	―	4,758	―	4,758	―	4,758
フィットネス	―	2,742	―	―	2,742	―	2,742	―	2,742
ブライダル	―	―	5,410	―	5,410	―	5,410	―	5,410
その他	―	186	―	―	186	13	199	―	199
顧客との契約から生じる収益	38,663	38,810	5,410	―	82,885	13	82,898	―	82,898
その他の収益	―	42	―	1,088	1,130	―	1,130	―	1,130
外部顧客への売上高	38,663	38,852	5,410	1,088	84,015	13	84,028	―	84,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4	4	2,443	2,452	30	2,482	△2,482	―
計	38,663	38,857	5,415	3,531	86,468	43	86,511	△2,482	84,028
セグメント利益又は損失（△）	△834	4,604	△89	769	4,449	△8	4,441	△504	3,937

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

２．セグメント利益又は損失の調整額△504百万円には、セグメント間取引消去1,806百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,310百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ファッション事業」、「エンターテイメント事業」及び「不動産賃貸事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ56百万円、563百万円及び４百万円です。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	ファッション事業	エンターテイメント事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	不動産賃貸事業	計				
売上高									
ファッション	37,616	―	―	―	37,616	―	37,616	―	37,616
複合カフェ	―	31,821	―	―	31,821	―	31,821	―	31,821
カラオケ	―	4,448	―	―	4,448	―	4,448	―	4,448
フィットネス	―	3,038	―	―	3,038	―	3,038	―	3,038
ブライダル	―	―	5,093	―	5,093	―	5,093	―	5,093
その他	―	7	―	―	7	101	109	―	109
顧客との契約から生じる収益	37,616	39,316	5,093	―	82,026	101	82,128	―	82,128
その他の収益	―	42	―	1,174	1,216	―	1,216	―	1,216
外部顧客への売上高	37,616	39,358	5,093	1,174	83,243	101	83,344	―	83,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	17	9	2,585	2,652	30	2,683	△2,683	―
計	37,656	39,376	5,102	3,760	85,895	132	86,028	△2,683	83,344
セグメント利益又は損失（△）	△2,074	4,467	△607	850	2,635	△1	2,634	△687	1,946

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告関連事業等です。

２．セグメント利益又は損失の調整額△687百万円には、セグメント間取引消去1,646百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,333百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

３．セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ファッション事業」及び「エンターテイメント事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖が決定したことにより回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においてはそれぞれ55百万円及び506百万円です。